THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF
OSAKA NAKANOSHIMA
Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES（2021-2022）
国際会長主題 ："Y's Men with the World"「世界とともにワイズメン」
アジア会長主題："Make a difference beyond the 100th"「100 年を超えて変革しよう」
西日本区理事主題："Challenges for the future"　「未来への挑戦」
中西部部長主題："Love your neighbor as yourself!"「隣人愛を実践しよう！」
クラブ会長主題：「ずっと一緒に！・・・新しい仲間を見つけつつ」

Monthly Bulletin
第 303 号
2022 年 4 月

聖書のことば

「いと高きところには栄光，神にあれ，
地には平和，御心に適う人にあれ。」
ルカによる福音書 ２章 14 節
選者　今井　利子

前回の聖書を振り返ると，コロナ禍も２年目に突入した頃で，イエスキリストの愛があり神の愛があることは大きい事であるという事だったと思います。でも今年もコロナはオミクロン株や変型で感染者が無くなる事はありません。その上ロシアはウクライナの住民たちに被害を与え，世界中をはらはらさせています。そんな時こそ地の平和を人類の倖せを祈りたいと願って選びました。　*今井　利子*

４月例会プログラム
中西部 YYY フォーラム

日時：2022 年 ４月 ９日（土）14：00～16：00
場所：大阪 YMCA 会館 10F チャペル

お話し
西日本区 YMCA サービス・ユース事業主任
河口裕亮　さん（彦根シャトークラブ）
高島クラブ
牧　賢範　さん
（元ユースリーダー，元 YMCA 職員）

３月例会報告

「必要に沿えるように！」

藤井　弥生

少し春を感じることの出来る３月５日土曜日の午後、なかのしまの３月例会が開かれました。昨年９月に「ミャンマーの片隅で」という題で小森仁美さんのお話をお伺いましたが、今回は２回目のお話です。

小森さんのミャンマーのお話、私は楽しみにしていました。私が、なかのしまクラブに入るきっかけは、ミャンマーにミシン、洋服の生地を集め、ミャンマーの方達、女性や障がいのある方達、子ども達のために持って行くと言う吉岡さんのお話でした。私に出来ることはしようと思い、入会しました。自分の着替えは、最少限にしてトランクには集めた生地を 25 キロだったか、一杯つめて持って行くとのこと。毎年毎年、何年続いたか忘れましたが、私も実際に持って行ったことがありました。

小森さんは、今回も PowerPoint を用意され、ミャンマーの現状、国軍の暴挙で難民が増えていること、難民支援についてなど丁寧に話して下さいました。お話を聞きながら、私はなかのしまクラブの出来ることについて考えさせられました。

お話が終わって、結構長い話し合いの時がもたれましたが、私たちの側からもいろいろな意見が出ました。みんな私と同じように、何か私たちに出来ることはないか？どうしたらミャンマーに関われるか？など、真剣に考えているようでした。小森さんのなさっていることをお手伝いしたい、何が出来るだろうとの思いを大事にしつつ、「必要に沿えるよう」な活動が出来たらいいなあとの思いを強くした例会でした。

３　月　統　計

第１例会出席者数		例会出席率		B　F　統　計			
メンバー	11 名	出席者	11 名	日本	60 g	累計	270 g
ビジター	1 名	メイキャップ	3 名	外国	0 g	累計	80 g
ゲスト	1 名	合　計	14 名	現金	円	累計	円
コメット	1 名	在籍者	14 名	提供者：	杉浦　武井　藤井　藤好		
合　計	14 名	出席率	100.0%				

コロナ感染・観戦記

吉田　由美

２年間に渡り世界を席巻してきたコロナ感染症に対し、「自分自身がしっかりしていれば、防げる！」と信じ、万全の感染対策を取りつつも活動を止めないように、気持ちを止めないように、必要以上に恐れることなく日々の生活を行ってきました。

４歳の孫の保育所がコロナ感染により閉鎖され、2月1日の火曜日から 3 日間子守をすることになりました。１日目は楽しく過ごしていましたが孫が発熱し、2時間おきには検温、軟らかい物を食べさせ、グズる孫を抱いて過ごしました。２日目には孫の発熱は収まり、「公園へ行きたい！お花にお水をあげよう！」と言い出しましたが、私自身の倦怠感が始まっていました。その日の午後に娘が早引きして帰宅し、バトンタッチしてくれましたが、夕方から 38 度～39 度の発熱が続き、自宅にあった解熱剤を服用し凌ぎました。

娘は医療関係なので毎日抗原検査又は PCR を受けて陰性確認をしています。3日目の朝娘にも倦怠感が出ましたが、勤め先までは遠いので近所のクリニックに検査をお願いすると、結果は陽性と出て、同様に受けた私も同じ結果となりました。４歳の子供の PCR 検査を引き受けてくれるところが見当たらず判定できていませんが、二人が陽性になった事で「コロナだったんだ！」となり、一家中が自宅療養となった次第です。

発熱から 5 日間は時々ぶり返す発熱に解熱剤で対処しながら過ごしましたが、お腹が空いているにも関わらず、食事する気や調理する気にならず低栄養状態になっていたと思います。6日目には漸く少しずつ食事もとれるようになって回復に弾みがついてきましたが、体力と体調の自信を取り戻すまでに自宅療養期間の 10 日を要しました。

子供の頃にインフルエンザに罹って以降毎年ワクチンを打って予防してきましたし、コロナワクチンも率先して接種してきました。症状は人により様々で私のように軽症で済んだ者は少ないかもしれませんが、コロナは「あっ！」という間に感染することを最後に申し添えます。

懐かしい元メンバーの方からのお便り

大谷　節子　さんより

昭和 20 年に生まれた私は、戦争のため生まれることが出来なかった命が沢山あったのではと、ずっと思っています。物のない子ども時代でしたが、近隣を含め幅広い年齢層の方々に、衣食住その他を支えて頂きました。その体験は本当に大きい私の財産だと思っています。

ここ 10 数年困難を抱えた女性達の支援をしていますが、最近出会う方々の成育の状況がとても気がかりです。その方とどう心を通わせられるか段々難しくなっています。便利で楽な、携帯依存の社会で育ち、人とも物とも生の体験が少なく、心揺り動かせられる経験に出会って来ていない。親子関係のみならず、様々な社会環境の中でも直接経験が少なく、人や物との出会いに対する感性が育っていないのではないでしょうか。

私は「なかのしま」の立ち上げの時に杉浦さん、江見さんに声を掛けて頂きました。そこで多方面で活躍されている女性達、そして山地さんに出会え、職場の悩みに捕らわれていた私は、強く心が揺り動かされ、その後の転機になる大きな体験だったと今痛感しています。

「なかのしま」の働きはとても大きいと思っています。それ故に会員の皆様のパワーを社会の中でもっと活かして頂きたい。何気ない生活の場で出会う、子どもから大人まで年齢関係なく、皆様の培ってこられた感性を分かちあって頂けたらと、厚かましくも思っていることお許しください。

大谷節子

３月第２例会報告抄

日時：2022 年３月 23 日（水）19 時～
場所：Zoom にて
出席者：13 名

1. ４月第２例会を、下記のように対面で行い、後半を「研修会」とすることとした。またこれが問題なく出来たら、５月第２例会も同じようにする。
   ４月 20 日（水）18:30 - 20:30
   於：大阪 YMCA
2. 今期のクラブ CS 事業として、「アトリエゆう ハウス」へ３万円、ミャンマー難民支援へ 10 万円それぞれ献金することとした。（クラブファンドより支出）
3. 「ウクライナ緊急支援募金」として西日本区へ 10 万円送金することとした。（「ニコニコ会計より支出）
4. 第 25 回西日本区大会(6/11 岡山にて)について、我がクラブはこれが６月例会となるので、なるべくみんなで参加しましょうとのお勧めがあった。

困難のなかにいる方たちを
忘れません！

ミャンマーに思いを寄せて【10】

杉浦 眞喜子

なかのしまを立ち上げて、1 年半ぐらい経った頃でしょうか、山地さんが縫製指導でお知り合いになった MCC（ミャンマーキリスト教協議会）の Jabu さんという方が、「ミニバス」が欲しいと言っているけど何とかならないだろうかとのお話がありました。その頃から山地さんは Jabu さんと一緒に、MCC のルートでミャンマーの障がいのある方たちのための縫製指導を始めていらっしゃいました。障害のある方たち相手ですので、その送迎に車があったら便利ということでした。私は割に単純ですから、それはいい、何とか私たちで贈れないかしらと思い、みんなに提案しましたが、ことはそう簡単にはいきませんでした。

「欲しいと言われて、すぐ贈ってもいいの」「本当に必要なのか？」「『贈る』ことより大事なこと、しっかり関わり合うことを大事にしたい」等々、喧々諤諤徹底的に真剣な話し合いがなされました。縫製指導アシスタントとしてミャンマーに赴く戸田亜理子さんに調査を頼むとともに、それに基づいて「なかのしまのミャンマー支援の基本方針」を決めました。それの骨子は、「ミャンマーの女性、障がいのある方たちとの交流を通して互いに学び合う」「一方的な経済支援ではなく、友情を育てる」などでした。

その上で、要望のあったミニバスを贈ろうということとなり、西日本区 CS 資金援助の申請を行うと同時に、広く募金を募り、2000 年 2 月には 400 万チャット（135 万円）をミニバス購入費用としてミャンマーに送ることが出来ました。その 4 月には、桑野友子会長以下数人がミャンマーへ赴きヤンゴンのMCC 本部で贈呈式が行われました。「なかのしま号」と名付けられたその「ミニバス」は以後MCCの障がいある方たちのための縫製指導プロジェクトなどで、ミャンマー奥地まで走り続けたと聞いていますが、ミャンマーの悪路とハードなスケジュール、そして元々中古車であったこともあり、2006 年頃には使用不能となり売却されたと聞いています。

あの時、みんなで決めた「なかのしまのミャンマー支援の基本方針」は、その後の私たちのミャンマーとの関わりでいつも確認されて来ましたし、今もこれを大事にしていきたいと私は思っています。

YMCAニュース

★第 336 回早天祈祷会

日時：2022 年 4 月 15 日（金）7：30～8：15
※朝食会はございません。

証し：山根　一毅　さん
（ユース事業部責任者補佐 グローバル事業グループ長）

場所：大阪 YMCA 会館　10 階　チャペル

※新型コロナウイルスの感染状況により、中止の可能性があります。

「私と合唱」

江見　叔子

子供の時から、歌うことが好きだった。気持ちよく声が出る時の体の感覚が楽しい。小学生の時、家にピアノがある友達がうらやましかった。親にねだっても、無理だとわかっていたし、母はこう言った。 ピアノは壊れたり盗まれたりするけど、歌声は自分のものだよと。 フーンそうかも・・・・・・。

私はわりと声がよく出ていて、それはとても気持ちがよかった。一人で歌うのは楽しいけれど、合唱するのはもっと楽しい。歌声に包まれ、良い歌詞に守られているのを実感する。高校の合唱部から先輩が作った社会人混声合唱団で歌い、演奏会もし、ミサ曲や合唱組曲をたくさん楽しんだ。

結婚して箕面に住むようになってからは地域の「箕面市民合唱団」に入った。練習は夜なので、練習会場が家に近いのもありがたかった。大人の合唱団は指揮者や伴奏者にも恵まれる。私はそこで合唱団の合宿を計画し、みんなを関学のセミナーハウスに連れて行ったりもした。教会の経験や人脈が役立った。病気で中断したが、今もまた合唱団に復帰した。病後の私には丁度よい運動になる。

合唱といっても段然混声４部がいい。力強い歌声に包まれるのは心が躍る。歌うだけなので、余計な人間関係もない。楽器のように壊れないはずだったのに、残念ながら声は衰える。なんとも情けないのだが、一人ではなく、２０人もいればよい響きが生まれる。訓練の方法も習う。人生の節目に空耳のように合唱が聞こえたことがある。天使の歌声はこんな風に聞こえるのかを経験した。命の終わりに、暗いトンネルを歩く時、トンネルの向こう側にイエス様が待っていて光と共に、合唱がきこえると信じている。どんなに美しいことだろう。楽しみだ。良い曲をたくさん心に蓄えておきたい。

ニコニコ献金３月　14,030 円

〈ニコニコメッセージ〉　― ３ 月 ―

☆ 顔と顔とを合わせてお会いできて本当に嬉しかったです。メンバーの皆さんがミャンマーの現状に真剣に耳を傾けてくださり、聞き流すのではなく、「どんなことができるだろう？」という視点で様々な意見交換をくださったことに感動しました。
（ゲストスピーカー 小森仁美）

☆ 今日はなかのしまクラブの皆さんに会うことができて楽しかったです。また久しぶりに小森さんのお話を聞くことができて嬉しく思いました。これからもご活躍をお祈りしております。
（紀の川クラブ 坂本　智）

次ページに続く

☆ 創立以来ミャンマーに心を届けていたクラブの暖かさ，長い間に世界の事情も変わり、何かほんとに喜んでもらえる役に立つこと、小さいことでも続けたいと思いつつ、しっかり聞かせて頂きました。小森さん頑張ってくださいね。（今井）

☆ ３月１８日から東京の息子家族を訪ねるのにいろいろ飛んでしまいました。日々のリズムのため食べてばかりの毎日ですが、夫の料理修行が進み頼りになってきました。（江見）

☆ オミクロンが怖くてなかなか大阪まで足を運ぶことができません。遠くない未来にクラブのみんなと会うことができるようにと祈るばかり。そうなればミャンマーの支援についてもすこし実態がみえてくるでしょうか。無料診療所の人々もどうなさっているのか、心配です。それにしても２１世紀にもなっているのに、私たちは愚かな・・・。（國友）

☆ 40 年近く前、１年余り研究生活を送ったカナダの大学のボス（教授）がウクライナ人でした。招待されて伺ったお宅はまさに「ウクライナ！」就学前の子ども達は英語が話せません。家中みんなウクライナ語で、ウクライナの民芸品で溢れていました。今彼らはどんな思いでいるのだろう？直接の被害は勿論ないでしょうが、胸が痛みます。（杉浦）

☆ 毎日家事に追われていましが、何とかなかのしまクラブの例会に出席することが出来ています。美帆も毎月楽しみにしていますから、頑張って例会は出席しましょう。今日の例会スタイルよかったです。（武井）

☆ YMCA で例会ができてうれしいです。（武井美帆）

☆ 小森仁美さんを通じてミヤンマーに関わっていきたいです（藤井）

☆ ウクライナで起こっていることに胸を痛めながら、ミャンマーの方々の「今」を知る機会を感謝しています。ミャンマーへの支援の一歩に近づけた例会になったと思っています。いつかミャンマーコーヒーを飲みたい！！（藤好）

☆ ようやく３月１日から外国人の新規入国が動き出しました。今その手続きで大変忙しくなって来ました。この忙しいのはありがたいことですので、何とか乗り切りたいと思います。（古谷）

☆ 次から次へといろんなことが起こる世の中です。私たちが思う解決にはならないかもしれないけど、神さまの守りを信じて祈りつつ一生懸命生きていきたいものです。（保田）

☆ 家の前の川べりの道に、梅に続いて早咲き桜が咲きました。待ちに待った春、マスクは着けて、人混みはさけて、外へ出よう！（山佐）

☆ 久しぶりで大阪 YMCA での例会である。また小森さんのミャンマーの活動のお話である。まだまだボランティア活動が難しいそうであるようです。（吉岡）

☆ ミモザや水仙が咲き始め、クリスマスローズは今を盛りと重そうな花をつけています。３回目のワクチン接種が一番副反応に悩まされましたが、活動の春に向けて無敵の体を手に入れたかな？（吉田）

☆ 「良性発作性めまい症」毎日のこと鬱陶しいですわ。寝起き、うつむく用事、頭の動かし方でね。（和田）

先月の DBC 例会時、京都トゥービークラブの方々にもニコニコメッセージを頂きましたが、紙面スペースの都合で掲載することができませんでした。ひと月遅れで、ここに披露させて頂きます。改めてトゥービーさん，ありがとう！

★ 皆様の元気なお姿を拝見出来て本当に良かったです！（桶谷雄一）

★ なかのしまクラブの皆様お久し振りです。お元気そうな笑顔を拝顔出来てとても Happy な時間でした。健康が一番です。私はエアバイクで毎日トレーニングに励んでいます！（小幡弘）

★ 今日は大阪なかのしまクラブ様との合同例会で皆様とご一緒できて大変楽しかったです。またバースデイも祝って頂き光栄でした。良い一年になりそうです。（新谷嘉啓）

★ 久しぶりになかのしまクラブの皆様とご一緒できてとてもうれしく思います。楽しい時間をありがとうございました。（馬場昭宏）

★ 私は、ご飯のおすしのなすとしばづけがおいしかったです。他のお漬物もおいしかったです。（コメット 馬場風歌）

★ ごはんでおつけもののおすしがおいしかったです。ほかのおつけものもおいしかったです。たのしかったです。（コメット 馬場美颯）

★ 久しぶりになかのしまクラブの皆様の笑顔を見ることができ、うれしかったです。これからもどうぞよろしくお願いします。（古田裕和）

★ 久しぶりにリアルで交流できて、嬉しかったです。来年もリアルで交流できることを祈っております。ありがとうございました。（松崎和彦）

★ 発酵パワーでコロナ撲滅！今日は寒い中京都にお越し頂きありがとうございます。（水野充弘）

★ おいしいもの大好きです。（溝口誠）

★ 久しぶりの交流楽しみです。毎月ブリテンありがとうございます。来年も交流できること願っています。（宮田雄輔）

★ 久しぶりになかのしまクラブとの合同例会、すごく楽しめました。ありがとうございます。（安井基晃）

★ お寒いなか京都までお越しいただきありがとうございました。久しぶりになかのしまの皆さんと交流できて楽しかったです。（山内哲）

★ コロナ禍の中、このように合同例会を開催できて、大変うれしく思います。（山口真一）

★ 楽しく参加させて頂きました。ありがとうございました。（メネット 山口桂子）

★ 久しぶりになかのしまクラブの皆様の元気な顔をみれて、うれしかったです。コロナに負けずに頑張りましょう！（渡邉聡）

編　集　後　記

桜が満開になりかけています。「蔓延防止措置」が解除され、ウキウキと外に出かけたい気分ですが、新型コロナ感染者は未だ未だ減っていません。ウクライナのことも気になります。

でも、やっぱり「春」、希望を持って前に歩みを進めましょう。ワイズは、締めくくり、まとめの時期に入っています。